

点検報告書骨格案

第 2 次循環型社会形成推進基本計画の進捗状況の第 2 回点検については、第 2 次循環型社会形成推進基本計画の項目に沿って、報告書を記載する。

フォローアップについては、我が国の循環型社会形成に向けた現状の数値等の傾向についてもできるだけ分析を行い、平成 22 年度の間評価に活かすことができるものとする。

点検報告書骨格案については次のとおり。

第 2 次循環基本計画の項目	取組の進捗状況等
第 3 章 循環型社会形成のための指標及び数値目標 第 1 節 物質フロー指標	はじめに 循環型社会形成のための数値目標に関する進捗状況 1. 物質フロー指標に関する目標に向けた進捗状況 1 目標を設定する指標 (1) 現在の状況 「入口」: 資源生産性 「循環」: 循環利用率 「出口」: 最終処分量 2 目標を設定する補助指標 (1) 現在の状況 土石系資源投入量を除いた資源生産性

<p>第2節 取組指標</p>	<p>低炭素社会への取組との連携</p> <p>3 推移をモニターする指標</p> <p>(1) 現在の状況</p> <p>化石系資源に関する資源生産性</p> <p>バイオマス系資源投入率</p> <p>我が国の金属系資源輸入量に関わるTMR</p> <p>- 1 循環資源の輸出入量</p> <p>- 2 総物質消費量</p> <p>産業分野別の資源生産性</p> <p>(2) 評価と課題</p> <p>2. 取組指標に関する目標に向けた進捗状況</p> <p>1. 目標を設定する指標</p> <p>(1) 現在の状況</p> <p>廃棄物等の減量化</p> <p>ア 一般廃棄物の減量化</p> <p>(ア) 1人1日当たりのごみ排出量</p> <p>(イ) 資源ごみなどをのぞいた1人1日当たりに過程から排出するごみの量</p> <p>(ウ) 事業系ごみの「総量」</p> <p>イ 産業廃棄物の最終処分量</p> <p>循環型社会形成に向けた意識・行動の変化</p> <p>ア 廃棄物の減量化や循環利用、グリーン購入の意識を持つ</p> <p>イ 廃棄物の減量化や循環利用、グリーン購入について具体的に行動する</p> <p>循環型社会ビジネスの推進</p>
-----------------	--

<p>第4章 各主体の連携とそれぞれに期待される役割</p> <p>第1節 国民</p>	<p>ア グリーン購入の推進</p> <p>イ 環境経営の推進</p> <p>ウ 循環社会ビジネス市場の拡大 個別リサイクル法・計画等の着実な施行</p> <p>2. 推移をモニターする指標</p> <p>(1) 現在の状況</p> <p>レンタル・リース業の市場規模、詰め替え製品出荷率</p> <p>レジ袋辞退率(マイバッグ持参率)、使い捨て商品販売量(輸入割り箸)</p> <p>中古品市場規模、リターナブルびんの使用率</p> <p>「リユースカップ」導入スタジアム数等</p> <p>地域の循環基本計画等策定数</p> <p>ごみ処理有料化実施自治体率、リデュース取組上位市町村</p> <p>資源化等を行う施設数(リサイクルプラザ等)</p> <p>一般廃棄物リサイクル率、集団回収量、リサイクル取組上位市町村、容器包装の分別収集の実施自治体率、各品目別の市町村分別収集量等</p> <p>地方公共団体等主催の環境学習・相互交流会の実施回数、「地域からの循環型社会作り支援事業」への応募件数</p> <p>(2) 評価と課題</p> <p>各主体の取組状況の評価</p> <p>1. 国民の取組</p> <p>(1) 現在の状況</p> <p>(2) 評価と課題</p>
--	---

第2節 NGO/NPO、大学等	2. NGO/NPO、大学等の取組
	(1) 現在の状況
	(2) 評価と課題
第3節 事業者	3. 事業者の取組
	(1) 現在の状況
	(2) 評価と課題
第4節 地方公共団体	4. 地方公共団体の取組
	(1) 現在の状況
	(2) 評価と課題
第5章 国の取組	
第1節 取組の基本的な方向	
第2節 国内における取組	
1 循環型社会、低炭素社会、自然共生社会を統合した持続可能な社会に向けた展開	1. 循環型社会、低炭素社会、自然共生社会を統合した持続可能な社会に向けた展開
2 地域循環圏を踏まえた循環型社会づくり	2. 地域循環圏を踏まえた循環型社会づくり
	(1) 現在の状況
3 一人一人のライフスタイルの変革	3. 一人一人のライフスタイルの変革
	(1) 現在の状況
4 循環型社会ビジネスの振興	4. 循環型社会ビジネスの振興
	(1) 現在の状況
5 循環資源の適正な利用・処分に向けた仕組みの充実	5. 循環資源の適正な利用・処分に向けた仕組みの充実
	(1) 現在の状況
6 3Rの技術とシステムの高度化	6. 3Rの技術とシステムの高度化
	(1) 現在の状況
7 循環型社会形成に関連した情報の的確な把握・	7. 循環型社会形成に関連した情報の的確な把握・提供と人材育成

<p>提供と人材育成</p> <p>第3節 海外との関係における資源循環</p> <p>1 循環資源の国際的な動き</p> <p>2 東アジア循環圏等国際的な循環型社会の構築に向けた我が国の貢献</p>	<p>(1) 現在の状況</p> <p>(2) 評価と課題</p> <p>8. 国際的な取組</p> <p>(1) 現在の状況</p> <p>(2) 評価と課題</p> <p>全体的評価と課題</p> <p>1. 物質フロー指標に係る進捗状況</p> <p>2. 取組指標と各主体の取組状況</p> <p>3. 今後の展開</p> <p>4. おわりに</p>
---	--

(参考1) 国の取組に係る進捗状況表

(参考2) 第2次循環基本計画の第2回点検に係る中央環境審議会循環社会計画部会における審議の経過